



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,298	22.4	38		37		29	
2020年3月期第1四半期	1,673	17.2	66	53.1	66	53.2	42	55.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 5百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 44百万円 ( 2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.48	
2020年3月期第1四半期	7.73	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,434	4,528	60.9
2020年3月期	7,431	4,643	62.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,528百万円 2020年3月期 4,643百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		19.00		20.00	39.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		20.00		21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,468	28.0	616	220.8	614	248.9	400	300.0	73.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,500,000 株	2020年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	51,422 株	2020年3月期	51,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,448,578 株	2020年3月期1Q	5,448,603 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
3. その他 .....	10
(1) 生産・受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大によって、国内外の経済が大きく影響を受け、急速に減速する状況となりました。

このような状況のもと、当社グループにおいては、人及び物の移動に関しての制限によって一部案件では検収時期が第2四半期以降に繰り越しとなり、また、新規受注に向けた営業活動にも制限がかかるなどの影響を受けました。

しかしながら、緊急事態宣言の解除以降、製造業各社は新型コロナウイルスとの共存が不可避であるという状況を認識した上で、次世代の製造業の在り方について検討を行い、開発投資はもとより、既存設備のFA化に向けた見直しを急ぎ、これに拍車がかかっている状況となっております。これら企業からの案件に対して、当社グループは意欲的に取り組み、ご要望にお応えするべく社内における生産体制の整備に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,298百万円（前年同四半期比77.6%）、営業損失は38百万円（前年同四半期は66百万円の営業利益）、経常損失は37百万円（前年同四半期は66百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は29百万円（前年同四半期は42百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売については期初の立ち上がりが良好であったものの5月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により受注量が減少いたしました。「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件や、新規引合い案件も順調であるものの、製造業における生産調整の影響から、当第1四半期累計期間における販売量は減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は860百万円（前年同四半期比77.4%）となりました

#### [装置部門]

装置部門におきましては、前期末に複数の大型案件の納入を完了し、当第1四半期累計期間は装置製作工程の谷間となったことに加え、大型設備向けクリーンブースの需要が一段落したことにより売上高は前年同四半期を下回る状況となりました。しかしながら小型案件では継続的に好調な受注、納入を維持いたしました。

この結果、当部門の売上高は205百万円（前年同四半期比63.2%）となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社とも新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生産調整が計られたことにより消耗品や治工具類の売上が大きく減少いたしました。しかしながら機械設備関係については、前年同四半期よりも売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は231百万円（前年同四半期比98.0%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ2百万円増加し、7,434百万円となりました。これは主に、棚卸資産が308百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が101百万円、電子記録債権が117百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ117百万円増加し、2,905百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が69百万円、賞与引当金が33百万円、それぞれ増加した一方で、電子記録債務が53百万円減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ114百万円減少し、4,528百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上29百万円や配当金の支払い108百万円があったことにより、利益剰余金が138百万円減少したことなどによります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ19百万円減少し、652百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の79百万円のキャッシュ・インに対し、126百万円のキャッシュ・インとなりました。これは売上債権の減少による資金の増加219百万円や未払消費税等の増加による資金の増加113百万円があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少305百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の28百万円のキャッシュ・アウトに対し、34百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が30百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の436百万円のキャッシュ・インに対し、113百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出が105百万円あったことなどが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年5月8日に発表しました業績予想に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

当第1四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大したことによって取引先各社が感染予防策として様々な制限を設けた結果、業績は低調に推移いたしました。今後は、新型コロナウイルスとの共存が常態化することを踏まえ、各社は様々な施策を検討しております。このような状況下で、3密を避けたテレワークの活用、及び業務の無人化や省人化を図る上で、A I（人工知能）、I o T（モノのインターネット）、さらに今後普及する5 G（第5世代移動通信システム）等は欠かせない技術となっており、これらI C T（情報通信技術）の根幹を担う半導体や電子部品の製造は、益々拡大しております。これらの製造装置においては、当社のアルファフレームシステムが多数利用されており、また、当社装置部門のF A装置やクリーンブース等の需要も高まることが期待されております。当社といたしましては、これら案件に対する受注活動に注力し、業績の拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	671,945	652,305
受取手形及び売掛金	1,022,814	921,361
電子記録債権	1,152,399	1,035,018
商品及び製品	220,266	297,233
仕掛品	580,097	756,613
原材料及び貯蔵品	462,375	517,659
その他	206,159	86,251
流動資産合計	4,316,058	4,266,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,070,892	3,073,644
減価償却累計額	△1,346,654	△1,372,742
建物及び構築物（純額）	1,724,237	1,700,902
土地	733,647	733,647
その他	985,494	1,039,155
減価償却累計額	△653,652	△662,489
その他（純額）	331,842	376,666
有形固定資産合計	2,789,727	2,811,216
無形固定資産		
その他	44,659	42,295
無形固定資産合計	44,659	42,295
投資その他の資産		
その他	280,849	314,063
投資その他の資産合計	280,849	314,063
固定資産合計	3,115,236	3,167,576
資産合計	7,431,294	7,434,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,878	528,425
電子記録債務	782,946	729,307
1年内返済予定の長期借入金	131,000	131,000
賞与引当金	63,446	96,751
製品保証引当金	1,745	1,601
その他	143,664	182,769
流動負債合計	1,581,681	1,669,855
固定負債		
長期借入金	934,000	934,000
退職給付に係る負債	211,836	214,328
その他	60,293	87,047
固定負債合計	1,206,130	1,235,376
負債合計	2,787,812	2,905,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,358,330	4,219,460
自己株式	△34,772	△34,772
株主資本合計	4,625,295	4,486,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,788	22,485
為替換算調整勘定	13,292	19,781
その他の包括利益累計額合計	18,081	42,267
非支配株主持分	104	95
純資産合計	4,643,482	4,528,787
負債純資産合計	7,431,294	7,434,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,673,557	1,298,476
売上原価	1,296,713	1,041,971
売上総利益	376,843	256,504
販売費及び一般管理費	309,928	295,059
営業利益又は営業損失(△)	66,914	△38,554
営業外収益		
受取配当金	4,932	1,280
仕入割引	1,089	1,510
その他	828	683
営業外収益合計	6,850	3,474
営業外費用		
支払利息	2,005	1,838
為替差損	—	737
投資有価証券評価損	4,945	—
その他	7	13
営業外費用合計	6,958	2,589
経常利益又は経常損失(△)	66,807	△37,669
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,807	△37,669
法人税、住民税及び事業税	35,134	5,408
法人税等調整額	△10,446	△13,164
法人税等合計	24,688	△7,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,119	△29,913
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,138	△29,899



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,119	△29,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,047	17,696
為替換算調整勘定	△111	6,493
その他の包括利益合計	1,936	24,190
四半期包括利益	44,055	△5,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,075	△5,713
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,807	△37,669
減価償却費	40,382	49,904
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,764	33,304
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,533	△144
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,692	2,491
受取利息及び受取配当金	△4,942	△1,283
支払利息及び手形売却損	2,005	1,838
投資有価証券評価損益(△は益)	4,945	—
売上債権の増減額(△は増加)	471,059	219,602
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,614	△305,593
仕入債務の増減額(△は減少)	△208,867	15,697
未払消費税等の増減額(△は減少)	△107,552	113,837
為替差損益(△は益)	—	687
その他	△155,984	34,937
小計	175,391	127,612
利息及び配当金の受取額	4,799	1,283
利息の支払額	△2,005	△1,838
法人税等の支払額	△98,980	△857
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,205	126,199
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24,083	△30,715
無形固定資産の取得による支出	△2,600	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
その他	△591	△1,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,474	△34,245
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	550,000	—
自己株式の取得による支出	△36	—
配当金の支払額	△105,747	△105,580
その他	△7,798	△7,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	436,416	△113,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△258	1,463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	486,887	△19,639
現金及び現金同等物の期首残高	617,831	671,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,104,718	652,305

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### (1) 生産、受注及び販売の状況

##### ① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,241,838	125.3	1,568,483	159.4
装置部門	264,202	105.6	365,020	114.6
商事部門	191,342	61.4	327,474	98.8
合計	1,697,384	109.3	2,260,979	138.4

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

##### ② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	860,961	77.4
装置部門	205,748	63.2
商事部門	231,766	98.0
合計	1,298,476	77.6

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。